

いつもありがとうございます。

W30 青果発注書をお送り致しました。

御注文のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

・7月22日納品について (吉田麻衣)

だいぶ慣れてきておられると思いますが、念のため。

7月21日は海の日でお休みの為、**7月22日納品**がございません。

なので、**今週7月19日、20日分にて追加頂ければ、対応可能です。**

電話が面倒くさければ FAX でもメールでも結構ですので、遠慮なく追加してください。

タイミングによっては可能、不可能ございますが、その際には弊社スタッフより相談の電話を入れさせていただきます。

次回の月曜日祝日は **8月11日**ですが、

その日は**お盆スケジュール**で、**発注日**が**変更**になりますので宜しくお願いします。

・調理後も綺麗さをキープ【岩手県産 藤沢のピーマン】 (販促部:吉田紗知子)



産地さんから頂いた、藤沢のピーマン(サンプル)の写真です。

原体箱で、箱一杯に届きました。

なので、

本社社員で分ける分も多く、

炒めものから、

焼き & 醤油和え、焼きそばまで、

多彩なパターンで食べる事が

出来ました。

炒めた際も、写真のような、
パリッと&緑が濃い ピーマンの状態をキープしていました。

収穫が始まってすぐの今、夏の暑さにも負けない、
生命力あふれる、力強い色合いです。
是非、ご検討いただければと思います。

・こだわり栗南瓜のシーズンのスタート！ 福井県 吉村さんのとみつ栗南瓜 (有安海)



多くの企業さまで待望していただいている、大人気商品の南瓜恋するマロンが始まります。
福井県の吉村さんの栽培する南瓜を取り扱い始めたのが 2023 年だったかと思うので、
今年で 3 シーズン目になります。

吉村さんと言えば、なんとと言っても9月上旬ころからスタートする、あの本物の味のさつまい『ほっこり金時』と記憶している方も多いかと思いますが、吉村さんはもちろんさつまいだけでなく、南瓜の栽培に関しても20年近くの経験を持つベテランになります。

アルファーでは美味しいものを栽培する農家さまは、何を栽培してもらっても美味しく作り上げてしまう！という考えを持っておりまして、数年前に栗南瓜の栽培をお願いしたところ、快く引き受けてもらえました。

いわゆる栗系に属している南瓜品種は、でんぷん質が高く、食べるとほくほくした触感を楽しめます。

玉サイズはというと、農家さんの技量にもよりますが、アルファーで仕入れ量NO.1の北海道無限樹さんでは、市場規格であれば5玉が中心サイズになるほどの玉太りの良い南瓜になります。



玉サイズが大きくなるとアルファーや生産者は喜ばしいことなのですが、実際に販売される企業さま側になると、大きい玉サイズになればなるほど1カットあたりが大きくなってしまいうため、販売価格も相対的に高くなってしまふからなのか少し敬遠されてしまふこともしばしばあります。

アルファーも無限樹の大川社長もですが、
お勧めするのは確実に 4 玉や 5 玉といった大きなサイズです。
大玉をお勧めする理由としては、
大きな理由の一つとしては、大きい個体の方が美味しいということです。
もう一つとしては、カットした時の断面である、
皮から種がある空洞になっている中央部までがのインパクトは、
7 玉や 8 玉のそれとは大きく違い、見るからに厚みがあり、
お客さまからの印象は大きく変わるでしょう。

お店が、御担当者さまが販売しやすい規格を販売することは
間違いではないように思いますが、
一番大事なことは、お客さまの求める商品を如何に品揃えし、
多くのお客さまに来店してもらい、高粗利額を得られることなどと思います。

この恋するマロンを始めとするアルファーの選ぶ南瓜は、
お客さまから必ず高評価を得られる最高の南瓜になります。
青果売り場のみでの販売だけではなく、総菜などとコラボ企画を作成することが出来れば、
青果のみでの販売よりも確実に得られる効果は高くなることは間違いありません！

・福井県に行ってきたので。その 2 (吉田麻衣)



こちら麻奈姫湖（ダム湖）。建石農場様の事務所から南へ山道を走ると現れます。

隣は麻奈姫様。金ぴかです。麻奈姫湖の途中で現れます。

ここまできると携帯もつながらないです。

以前より、建石さんの里芋が新登場の際に、

なぜこの地域の里芋が美味しいのか？という時に地形の話が出てきますが

その時に説明しているのが川の氾濫の被害が多い側と少ない側。

建石さんの畑は過去（過去といってもけっこう昔）に被害が大きかった側になります。

今ではダムのおかげで氾濫はないですが、

過去氾濫するたびに山から畑に栄養が流れ込むっていう寸法です。

で、今回訪れたときに色々話をお伺いしたのですが、

この地域実は結構な高山地域みたいです。

金、銀、銅、亜鉛、など様々な元素がふんだんに含まれている地域だって話でした。

植物が成長するために必要なもので最も重要なものが窒素、リン酸、カリウム。

その他に酸素、水素、炭素、カルシウム、マグネシウム、硫黄、マンガン、ほう素、鉄、銅、亜鉛、塩素、モリブデン。

これらで取得が難しいのがモリブデン、ほう素、マンガン、銅。

建石さんが言うには

これらの元素が山から流れてきて川の氾濫のたびに畑にまかれているので

他の地域よりもおいしく育ちやすいって話。



美味しく育つ要素がふんだんにある建石さんの里芋。

収穫開始は10月中旬ごろ。一時は面積をだいぶ狭くしたそうですが、いまではだいぶ面積を増やしているそうです。

また去年は開始が遅れましたが、今年は最初から提案できそうです。

・宮崎県 坂元さんの肉厚のにらのこだわりポイント (吉田麻衣)

まず、化学肥料は使わない。

その代わりに微生物活性剤と腐植酸をかくはん機で混ぜ合わせて、そこにコーヒーカスと牡蠣殻を加えた肥料を使うそうです。

元々は豚糞だけを使用していたそうですが、豚糞はリン酸が多く、畑の栄養の三要素である、窒素、カルシウムが不足します。

コーヒーカスを加えることにより窒素が、さらに牡蠣殻を加えることによりカルシウムが、それぞれの補完をできそうということで、試しに肥料に加えたそうです。

その話を聞いて指宿でもコーヒーカスを肥料に混ぜて栽培していた甘さきわだつ豆シリーズを思い出しました。

牡蠣殻はともかく、もしかしたらコーヒーのカスって結構優秀なのかもしれません。

それに加えて葉面散布に、わかめの力を使用しています。このわかめの力は鳴門ワカメを分解して作った液肥で、

以前お付き合いがあった野本農園さんのオリジナル肥料です。

更にはわかめの液肥、つまりはわかめの力がいいんだったら

海水も野菜にとってはいいのでは？という発想から、

海水を汲んでそれを畑に撒いています。

もちろん原液では枯れてしまうので 薄めています。。。。。

このように上から下から海の力を借りてニラを育てるって頑張りよう。

坂元さんのニラが肉厚になる秘訣はこれらの肥料であり、化学肥料ではありません。

化学肥料は吸収がいいため、成長が早いですが伸びるのが早いのであって

肉厚にはなりません。

坂元さんのニラは成長はそんなに早くないですが、

その分じっくり成長するため伸びるエネルギーよりも葉の太さにエネルギーを注ぎます。

なので、坂元さんのニラは肉厚になります。

そのかいあってか、昨年10月頃に宮崎では長雨で

ニラの農家がだいぶ細く薄かったそうですが、

坂元さんのニラはそれでもちゃんと肉厚でしっかりしていたそうです。

坂元さんの奥さんが液肥を撒く係らしいのですが、

奥さん曰く『いつもより厚くなってきてる気がする』だそうです。



坂元さん曰く

『厚さに自信がある』。

もちろん味もいいですよ。

・松茸情報 (株式会社パシフィックコーポレーション:彦坂嘉男)

少し早い気もしますが、今年も関西国際空港直送輸入松茸が始まります

長い取扱期間になりますが、

是非皆さんの思われる企業イメージ作りにお役立てくだされば幸いです。(吉田清一郎)

7月3日現在配信情報

松茸のシーズンが近づいてまいりました。

本年もしっかり商品も情報もご提供してまいりますので、よろしくお願ひします。

● 昨年の松茸状況

<雲南省、四川省>

産地は例年よりやや遅く7月中旬からスタートしました。

7月中旬から下旬は産地数量が順調に増え、

8月に入っても収穫量が順調に推移し、

例年通り7月下旬～8月中旬頃にピークを迎えました。

しかし、8月末から続く雨不足など天候の影響により、

9月中旬以後の産地数量が急激に減少、価格も高騰し、

結果10月下旬まで高値の状況が継続していました。

2024年の雲南・四川の産地数量は、最終的に平年作になりました。

一方で去年の日本市場は、前年に続き、

8月9月産地数量が潤沢な状況であっても、

輸入数量が、大きく増えませんでした。

主な原因は円安による原価高に加え、

記録的猛暑による外出控えなどでの消費の不振が考えられます。

● 中国産 現時点の産地状況

現在産地は、雲南が1,300kg、四川省が200kg、チベットが300kg

合計1,800kg前後、日量出ています。

昨年と同時期は、日量1トンでしたので、少し多いです。

昨年よりは早いペースで、雲南省は、出ています。

四川とチベットは、遅れていますが平年並みです。

日本への入荷は、全国で150kgくらいです。

まだ、価格はつぼみで 3 万、開きで 2 万近くになり、売れる環境ではありません。

産地は、雨も充分ですので今後、順調に増えてくると予想します。

価格は、昨年と同じくらいの為替レートなのと、

中国も景気は良くないので昨年並みとは考えます。

今の予想は、出始めの為、予想しにくいですが、

海の日連休については、スポット対応になりそうです。

そして 2 2 日以降は通常の商談ペースになると考えてはいますが、

中国も不景気とはいえ、安くなると需要はありますので、大きな下落はありません。

● その他

今年も問題は、円安になります。

しかし、産地の数量、景気動向で変わりますので日々交渉してまいります。

開きなども活用して対応させていただきます。

引き続きご報告致します。よろしくお願いいたします。

.....

7月10日現在配信情報

● 中国産 産地状況

現在の出荷量は、雲南が 4.6 トン。四川他が 2.5 トン、チベット 1 トン、

合わせて、日量約 8.1 トンです。

順調に増えてきましたが、ここでこの数日、横ばいが続き、価格も下げ止まっています。

昨年と同じ時期と数量は同じですが、雲南が多く、四川は、まだ遅れて少ないです。

予想では、8 月の前半にピークを迎えると思われます。

日本側もこの暑さで入荷も抑え気味で、日量 500 k g 前後です。

日本は、暑さで動きも悪く、まだ、原価も高いので慎重な入荷です。

量販店もこの連休から少しずつ動き出すので、
もう少し量が増えないと産地が下がりにくいです。
連休明けには、四川も出てくると言っておりますので、
連休明け(海の日)から全体量も増えて、売りやすい価格になることを期待します。

● 日本市場

各商社、入荷が始まりました、海の日に向けて、量販店様も品揃えが始まります。
来週後半からは、さらに、扱う量販店もふえてきます、
また業務関係も少しずつ増えてきます。

まずは、お盆に向けての品揃えが来週から再来週にかけて始まります。

● 今後の動き

当社も来週販売からは、毎日入荷します。
ただ、まだ価格は高いので数量は抑えております。
ご注文があれば、早い目に頂くと助かります。
今年も、つぼみと中ツボ、開きも価格差がついての販売となります。
引き続きご報告致します。よろしくお願いいたします。
(株)パシフィックコーポレーション

・今週の成分測定レポート

■北海道産 サンプル品 とまと

(新しい仕入先で取り扱いたいなあと考えているとまと)

測定日	産地・生産者	品名	1玉の重量	硝酸態窒素濃度	糖度	リコペン	β-カロテン
				ppm	度	μg/100g	μg/100g
2025/7/8	北海道 (購入品)	とまと	103.5g	検出せず	6.9	2,954	343



北海道産・とまとを測定しました。

購入(サンプル)品になります。

シャリッとした食感部分が強いとまとです。

【糖度】 6.9 度

アルファーの過去測定と比較すると、
中間か少し高い数値です。

【リコペン】2,954ppm

【β-カロテン】343ppm

同じ北海道の、当麻さんのとまと と近い数値帯となっています。(吉田紗知子)

・今週の栽培履歴調査レポート

品目 ミニトマト

品種 キャロル 10

特別栽培農産物

栽培責任者 辻 智也

住 所 北海道苫前郡苫前町字三溪 87 番地

連 絡 先 0164-65-3783

確認責任者 大川 博文

住 所 北海道苫前郡苫前町字三溪 87 番地

連 絡 先 0164-65-3783

節減対象農薬 6回 当地比7割減（慣行23回）

化学肥料（窒素成分） 13.2kg 当地比5割減（慣行28kg）

（表示は昨年と変更なし）

■台帳 NO. 3395

栽培面積 20a

栽培本数 2,000本/10a

予想反収 5,000kg/10a

収穫期間 2025/5/23～7/25 ころ

ネオニコチノイド農薬使用無し

■ 昨年の実績

節減対象農薬 5回

化学肥料（窒素成分） 12.4kg

・新登場

岐阜県産 加藤さんの清見とまと・・・継続期間：10月いっぱい頃まで予定

北海道産 有機栽培 金子さんのさくらんぼ・南陽・・・継続期間：8月初旬まで予定

長崎県産 特別栽培 なんぶ南瓜・くり将軍・・・継続期間：7月いっぱいまで予定

兵庫県産 養父養生にんにく・金郷純白・特大・・・6 継続期間：月頃まで予定

兵庫県産 特別栽培 養父じゃがいも・キタアカリ

北海道産 特別栽培 渡邊さんのイエローミニトマト・・・

継続期間：10月いっぱい頃まで予定

北海道産 特別栽培 渡邊さんのミニトマト・アイコ・・・

継続期間：10月いっぱい頃まで予定

・商品案内変更

北海道産 渡邊さんのミニトマト・・・特別栽培表記に変更
奈良県産 益田さんのとうもろこし・・・7月23日出荷まで
石川県産 とうもろこし・四万六千甘・・・7月22日～24日納品休止
青森県産 特別栽培 津軽りんご・有袋ふじ・・・価格変更。値下げ。
北海道産 今金原木椎茸・・・休止。

・終了

奈良県産 特別栽培 小林さんのとまと
北海道産 有機栽培 金子さんのさくらんぼ・佐藤錦

・7月新登場予定

北海道産 特別栽培 吉村さんのキタアカリ・・・w31より新登場予定
岩手県産 有機栽培 Organic にんにく・ホワイト六片・・・w31より新登場予定

・8月新登場予定

奈良県産 益田さんの奈良玉ちゃん・・・w32より新登場予定
北海道産 特別栽培 フルーツ夢人参・メマンペツ・・・w32より新登場予定
北海道産 特別栽培 無限樹のとうもろこし・わくわくコーン・・・w32より新登場予定
徳島県産 佐々木さんの梨・豊水・・・w34より新登場予定
香川県産 有機栽培 宮下さんの坂出金時・・・w34より新登場予定
北海道産 和田さんの男爵・・・w35より新登場予定

それでは、今週も御注文のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

有限会社アルファー

吉田清一郎